

## 学校施設の更なる活用に向けた市民アンケートの結果

### 1 調査の概要

(1) 目的

モデル事業の 1 つである「学校施設の更なる活用」についての検討に当たり、学校施設等に関する市民からの意見を集めるため、アンケートを実施しました。

(2) 対象者

住民基本台帳から無作為に抽出した 20 歳以上の市民 3,000 人

(3) 実施方法

郵送によるアンケートの配布、回収

(4) 内容

学校施設の一般開放や複合化に対する意向など

(5) 期間

平成 27 年 9 月 15 日～平成 27 年 10 月 13 日

(6) 回答者数

1,013 人（回答率 33.8%）

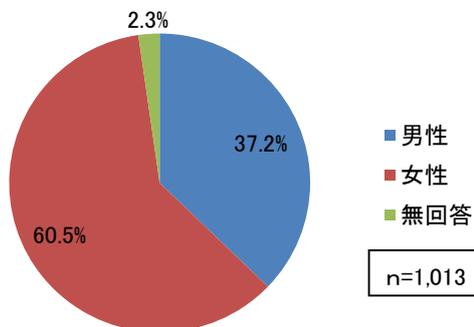
### 2 調査結果

次のページより、各設問に対する回答の集計結果を記載しますが、結果をよりわかりやすく伝えるため、一部設問の順番と異なる順番でまとめています。

なお、集計結果から作成したグラフと表中の割合（%）は、端数処理の関係で必ずしも合致しない場合、または 100%とならない場合があります。

(1) 回答者の属性について

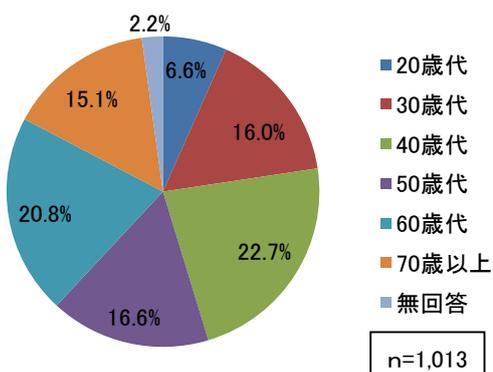
あなたの性別は？



選択内容	回答者数	割合
男性	377	37.2%
女性	613	60.5%
無回答	23	2.3%

• 女性の割合が大きくなっています。

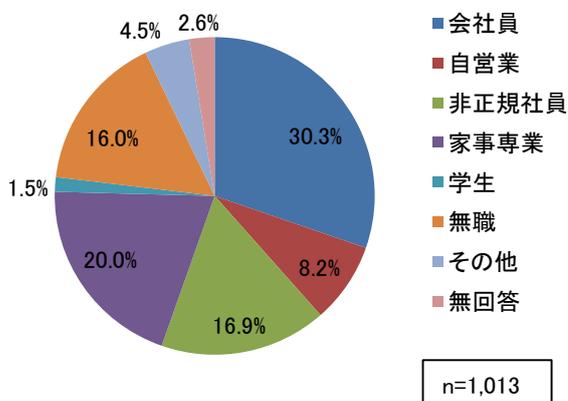
あなたの年齢は？



選択内容	回答者数	割合
20歳代	67	6.6%
30歳代	162	16.8%
40歳代	230	22.7%
50歳代	168	16.6%
60歳代	211	20.8%
70歳以上	153	15.1%
無回答	22	2.2%

• 40歳代が最も多く、次いで60歳代が多くなっています。最も少ないのは20歳代です。

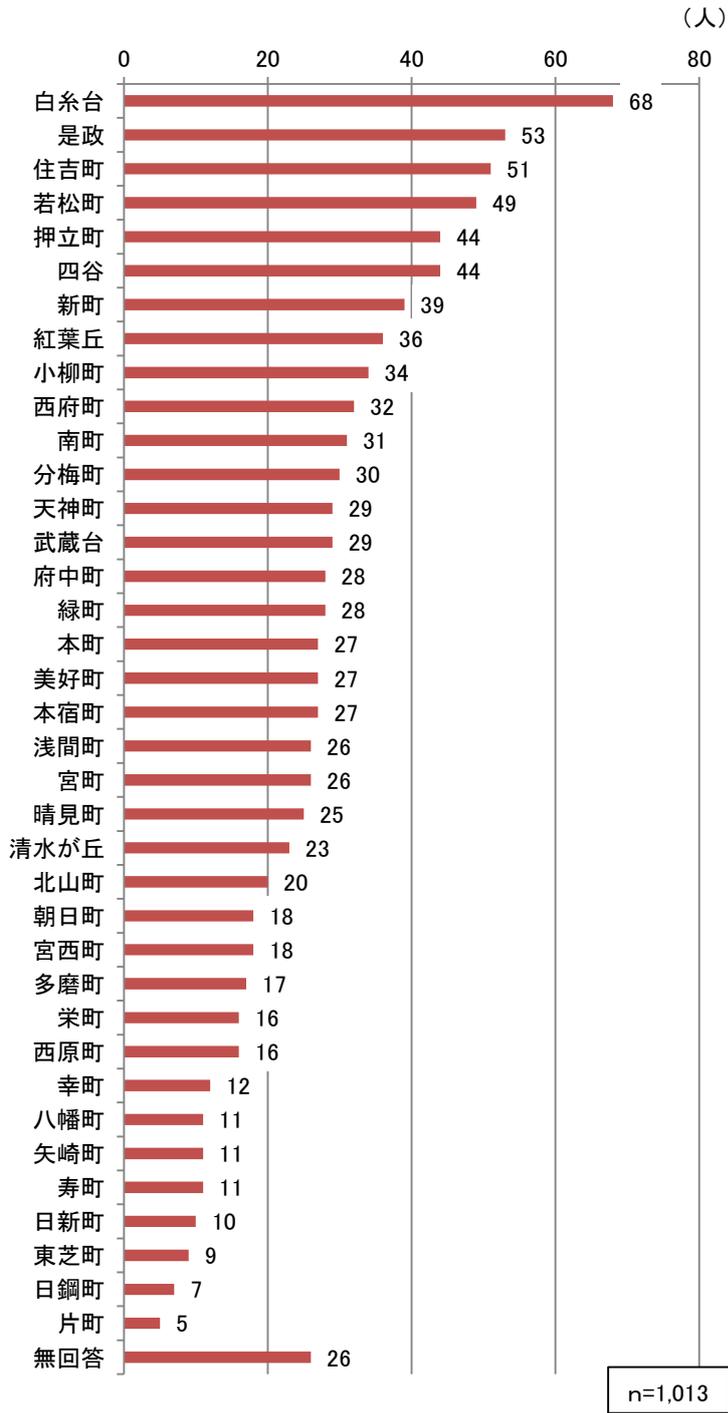
あなたの職業は？



選択内容	回答者数	割合
会社員	307	30.3%
自営業	83	8.2%
非正規社員	171	16.9%
家事専業	203	20.0%
学生	15	1.5%
無職	162	16.0%
その他	46	4.5%
無回答	26	2.6%

• 会社員の割合が最も大きくなっています。

あなたのお住まいの地域は？



地域	回答者数
白糸台	68
是政	53
住吉町	51
若松町	49
押立町	44
四谷	44
新町	39
紅葉丘	36
小柳町	34
西府町	32
南町	31
分梅町	30
天神町	29
武蔵台	29
府中町	28
緑町	28
本町	27
美好町	27
本宿町	27
浅間町	26
宮町	26
晴見町	25
清水が丘	23
北山町	20
朝日町	18
宮西町	18
多磨町	17
栄町	16
西原町	16
幸町	12
八幡町	11
矢崎町	11
寿町	11
日新町	10
東芝町	9
日鋼町	7
片町	5
無回答	26

(2) 公共施設マネジメントの方策について

問1-1 市民共有の財産である公共施設について、将来の市民に負担を先送りすることなく、適切に引き継いでいくためには、様々な視点で検討する必要があります。

各方策について、どのようにお考えになりますか。

- ア 実施すべき
- イ どちらかといえば実施すべき
- ウ どちらかといえば実施すべきではない
- エ 実施すべきではない

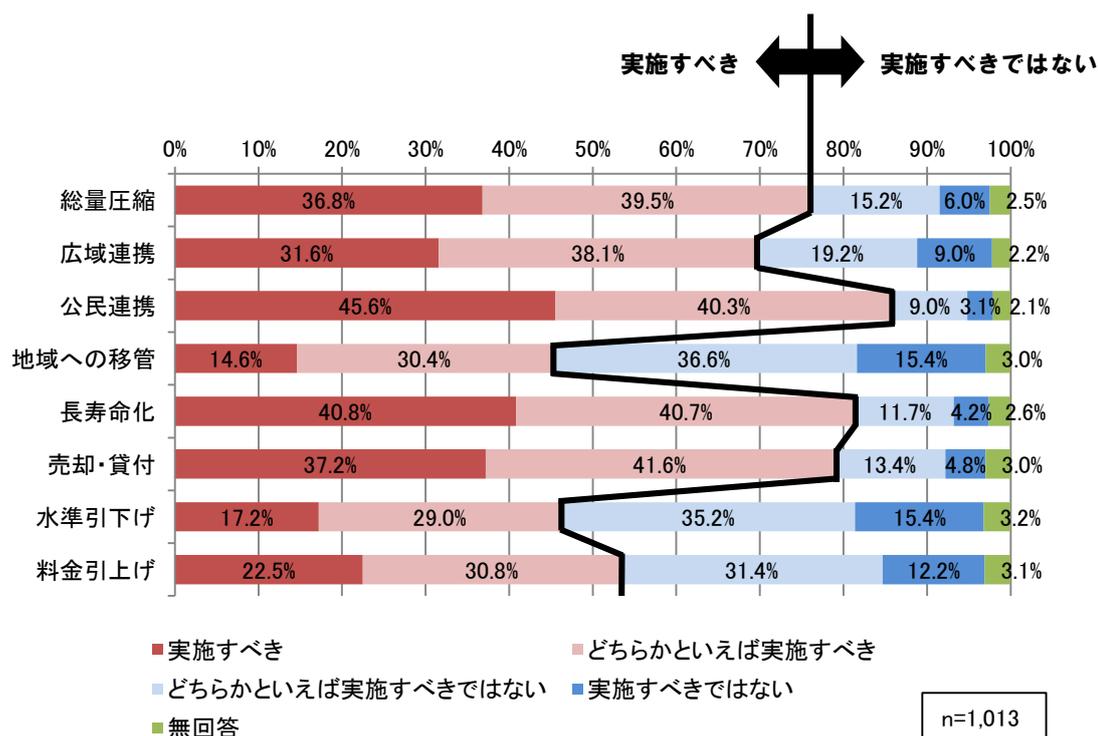
【ア～エ各項目の集計結果】

選択内容		回答者数 (割合)				
		ア	イ	ウ	エ	無回答
総量 圧縮	現在ある施設の統廃合や機能の複合化・ 共用化によって施設の総量を減らす	373 (36.8%)	400 (36.5%)	154 (15.2%)	61 (6.0%)	25 (2.5%)
広域 連携	近隣自治体と共同で施設を建設・運営する	320 (31.6%)	386 (38.1%)	194 (19.2%)	91 (9.0%)	22 (2.2%)
公民 連携	施設の更新や管理運営に民間のノウハウや 資金を活用する	462 (45.6%)	408 (40.3%)	91 (9.0%)	31 (3.1%)	21 (2.1%)
地域へ の移管	地域に密着した施設は、地域住民等が所有 し、維持管理を行う	148 (14.6%)	308 (30.4%)	371 (38.6%)	156 (15.4%)	30 (3.0%)
長寿 命化	建替えではなく、現在の施設を改修し、できる だけ長い間使用する	413 (40.8%)	412 (40.7%)	119 (11.7%)	43 (4.2%)	26 (2.6%)
売却・ 貸付け	施設の一部や土地の売却・貸付けによって 収入を得る	377 (37.2%)	421 (41.6%)	136 (13.4%)	49 (4.8%)	30 (3.0%)
水準 引下げ	施設におけるサービス水準を全国的な水準 などを参考に引き下げる	174 (17.2%)	294 (29.0%)	357 (35.2%)	156 (15.4%)	32 (3.2%)
料金 引上げ	使用料を徴収できる施設では、使用料を引き 上げる	228 (22.5%)	312 (30.8%)	318 (31.4%)	124 (12.2%)	31 (3.1%)

回答者数 【合計】1,013

【肯定的意見（ア＋イ）と否定的意見（ウ＋エ）別の集計結果】

選択内容		回答者数 (割合)		
		ア＋イ	ウ＋エ	無回答
総量 圧縮	現在ある施設の統廃合や機能の複合化・ 共用化によって施設の総量を減らす	773 (76.3%)	215 (21.2%)	25 (2.5%)
広域 連携	近隣自治体と共同で施設を建設・運営する	706 (69.7%)	285 (28.1%)	22 (2.2%)
公民 連携	施設の更新や管理運営に民間のノウハウや 資金を活用する	870 (85.9%)	122 (12.0%)	21 (2.1%)
地域へ の移管	地域に密着した施設は、地域住民等が所有 し、維持管理を行う	456 (45.0%)	527 (52.0%)	30 (3.0%)
長寿 命化	建替えではなく、現在の施設を改修し、できる だけ長い間使用する	825 (81.4%)	162 (16.0%)	26 (2.6%)
売却・ 貸付け	施設の一部や土地の売却・貸付けによって 収入を得る	798 (78.8%)	185 (18.3%)	30 (3.0%)
水準 引下げ	施設におけるサービス水準を全国的な水準 などを参考に引き下げる	468 (46.2%)	513 (50.6%)	32 (3.2%)
料金 引上げ	使用料を徴収できる施設では、使用料を引き 上げる	540 (53.3%)	442 (43.6%)	31 (3.1%)



- ・ 「実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」の合計（肯定的な意見）が50%を超えているのは、『総量圧縮』（76.3%）、『広域連携』（69.7%）、『公民連携』（85.9%）、『長寿命化』（81.4%）、『売却・貸付け』（78.8%）、『料金引上げ』（53.3%）です。特に、『公民連携』と『長寿命化』については、80%以上と多数を占めています。
- ・ 「実施すべきではない」と「どちらかといえば実施すべきではない」の合計（否定的な意見）が50%を超えているのは、『地域への移管』（52.0%）と、『水準引下げ』（50.6%）です。

問1-2 ①～⑧の方策で、特に「実施すべき」あるいは「実施すべきではない」と考える方策を1つ選択してください。

◆特に実施すべき方策

選択内容	回答者数	割合
①現在ある施設の統廃合や機能の複合化・共用化によって施設の総量を減らす。	98	9.7%
②近隣自治体と共同で施設を建設・運営する。	46	4.5%
③施設の更新や管理運営に民間のノウハウや資金を活用する。	101	10.0%
④地域に密着した施設は、地域住民等が所有し、維持管理を行う。	12	1.2%
⑤建替えではなく、現在の施設を改修し、できるだけ長い間使用する。	73	7.2%
⑥施設の一部や土地の売却・貸付けによって収入を得る。	45	4.4%
⑦施設におけるサービス水準を全国的な水準などを参考に引き下げる。	3	0.3%
⑧使用料を徴収できる施設では、使用料を引き上げる。	66	6.5%
⑨特になし・無回答	569	56.2%

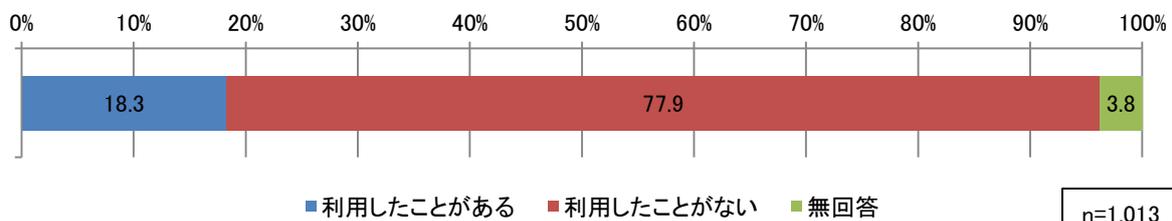
◆特に実施すべきではない方策

選択内容	回答者数	割合
①現在ある施設の統廃合や機能の複合化・共用化によって施設の総量を減らす。	28	2.8%
②近隣自治体と共同で施設を建設・運営する。	38	3.8%
③施設の更新や管理運営に民間のノウハウや資金を活用する。	23	2.3%
④地域に密着した施設は、地域住民等が所有し、維持管理を行う。	92	9.1%
⑤建替えではなく、現在の施設を改修し、できるだけ長い間使用する。	18	1.8%
⑥施設の一部や土地の売却・貸付によって収入を得る。	15	1.5%
⑦施設におけるサービス水準を全国的な水準などを参考に引き下げる。	80	7.9%
⑧使用料を徴収できる施設では、使用料を引き上げる。	68	6.7%
⑨特になし・無回答	651	64.3%

③ 学校施設の一般開放について

問2-1 学校施設の一般開放を利用したことがありますか。

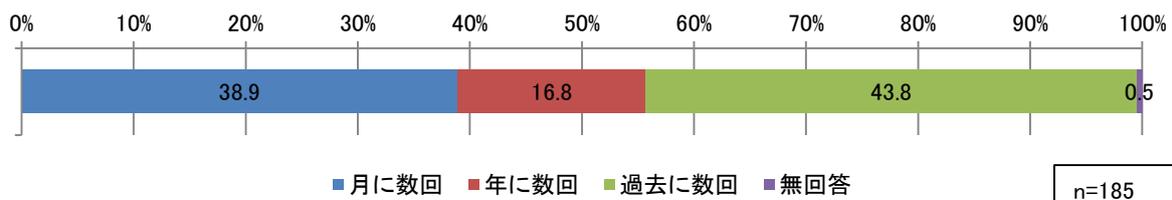
選択内容	回答者数	割合
利用したことがある	185	18.3%
利用したことがない	789	77.9%
無回答	39	3.8%



- ・ 利用したことがある人はあまり多くなく、約 80%の人は利用したことがない状況です。

問2-2 学校施設の一般開放を利用したことがある方は、どのくらいの頻度で利用していますか。

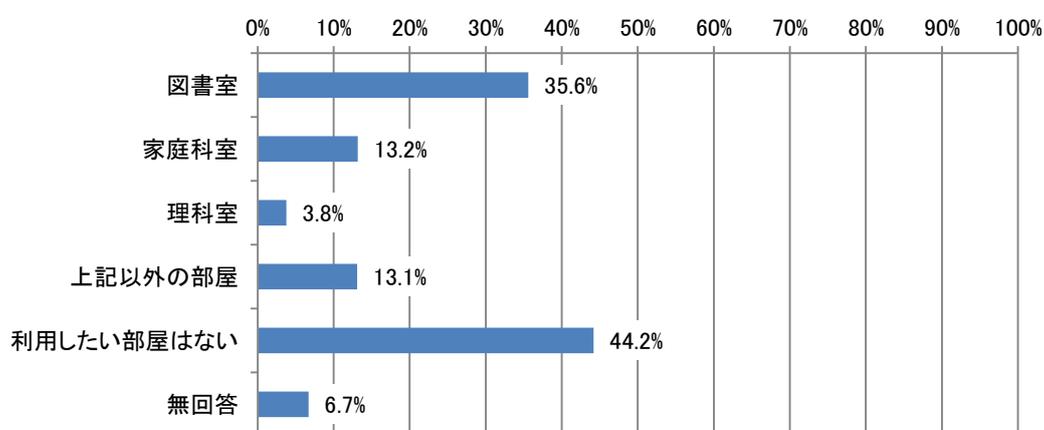
選択内容	回答者数	割合
月に数回	72	38.9%
年に数回	31	16.8%
過去に数回	81	43.8%
無回答	1	0.5%



- ・ 利用頻度は、定期的に2極化している状況がみられます。

問2-3 教育上支障のない範囲で、各種教室を利用できるようになった場合、利用したい教室はありますか。（複数回答可）

選択内容	回答者数	割合
図書室を利用したい	361	35.6%
家庭科室を利用したい	134	13.2%
理科室を利用したい	39	3.8%
上記以外の部屋を利用したい	133	13.1%
利用したい教室はない	448	44.2%
無回答	68	6.7%



上記以外で利用したい教室（主な回答）

教室名	回答者数	割合
音楽室	67	6.7%
図工室、技術室、工作室	16	1.6%
視聴覚室	9	0.9%
空き教室	4	0.4%
PC 教室	3	0.3%
美術室	2	0.2%

- 「利用したい教室がない」と回答した人が最も多くなっています。
- 選択肢として挙げた教室のほか、具体的な教室名として「図書室」が多く挙がっています。そのほか、音楽室や図工室、視聴覚室などの回答もありました。

(4) 学校プールの一般開放について

問3 学校が夏休みの期間中、学校プールを開放した場合、利用しますか。なお、次のような条件で一般開放を行うこととします。（複数回答可）

【条件】

- ①屋外プール、更衣室、トイレ、シャワーは学校の施設を使用
- ②監視員が常駐
- ③日中のみ開放

選択内容		回答数	割合
利用する	利用する	122	12.0%
	施設が近くにあれば利用する	178	17.8%
	使用料が無料、もしくは安価であれば利用する	170	16.8%
	地域プールと同程度の設備（更衣室やトイレなど）であれば利用する	184	18.2%
利用しない	利用しない	438	43.2%
	地域プールなど、市の他のプールを利用するから、利用しない	140	13.8%
	民間のプールを利用するから、利用しない	92	9.1%
-	その他	57	5.6%
	無回答	40	3.9%

【回答者数】 1,013、【回答総数】1,421

「その他」の意見（主なもの）

- 小さな子どもがいれば利用するが、今はいないため利用しない。
  - （高齢など）年齢の関係で利用しない。
  - 利用時間や水深など、条件が合わないため利用しない。
  - セキュリティ、防犯体制に不安があるため利用しない。
  - 一般開放に反対なため利用しない。
- 基本的な条件のみで「利用する」と「利用しない」を比較すると、「利用しない」の方が多くなっています。
  - 「使用料が安価、または無料」や、「地域プールと同程度の設備」といった条件が満たされた場合、「利用する」と「利用しない」の回答数は同じぐらいになります。

(5) プールの利用状況等について

問4-1 今年の夏（7月18日から8月31日までの間）に、プールを何回利用しましたか。  
また、利用した場合は利用回数を、利用しなかった場合は、その理由を1つ選んでください。

○ 利用者と非利用者

施設名	利用者数	非利用者数	無回答
市民総合プール(郷土の森総合プール)	137 (13.5%)	807 (79.7%)	69 (6.8%)
市民プール	38 (3.8%)	888 (87.7%)	87 (8.6%)
小柳プール	13 (1.3%)	901 (88.9%)	99 (9.8%)
白糸台プール	24 (2.4%)	895 (88.4%)	94 (9.3%)
西府プール	20 (2.0%)	898 (88.6%)	95 (9.4%)
武蔵台プール	12 (1.2%)	879 (86.8%)	122 (12.0%)
新町プール	11 (1.1%)	879 (86.8%)	123 (12.1%)
美好水遊び広場	34 (3.4%)	854 (84.3%)	125 (12.3%)
生涯学習センター温水プール	98 (9.7%)	805 (79.5%)	110 (10.9%)
その他民間のプール(市外含む)	121 (11.9%)	772 (76.2%)	120 (11.8%)
合計	508 (5.0%)	8,578 (84.7%)	1,044 (10.3%)

- ・ 全体としては、プールに行かない人が多数を占めています。
- ・ 総合プールや生涯学習センター温水プールは、地域プールに比べて利用者数が多くなっていますが、これは、アンケート対象者が20歳以上ということも影響していると考えられます。

○ 利用者の利用回数

施設名	利用者数	利用回数			
		8回以上	4~7回	1~3回	無回答
市民総合プール(郷土の森総合プール)	137	8 (5.8%)	22 (16.1%)	85 (62.0%)	22 (16.1%)
市民プール	38	3 (7.9%)	9 (23.7%)	22 (57.9%)	4 (10.5%)
小柳プール	13	1 (7.7%)	3 (23.1%)	7 (53.8%)	2 (15.4%)
白糸台プール	24	0 (0.0%)	6 (25.0%)	17 (70.8%)	1 (4.2%)

西府プール	20	1 (5.0%)	6 (30.0%)	13 (65.0%)	0 (0.0%)
武蔵台プール	12	2 (16.7%)	1 (8.3%)	8 (66.7%)	1 (8.3%)
新町プール	11	1 (9.1%)	1 (9.1%)	8 (72.7%)	1 (9.1%)
美好水遊び広場	34	2 (5.9%)	1 (2.9%)	31 (91.2%)	0 (0.0%)
生涯学習センター温水プール	98	13 (13.3%)	21 (21.4%)	60 (61.2%)	4 (4.1%)
その他民間のプール(市外含む)	121	13 (10.7%)	19 (15.7%)	79 (65.3%)	10 (8.3%)
合計	508	44 (8.7%)	89 (17.5%)	330 (65.0%)	45 (8.9%)

- ・ 「1～3回」の利用者が、半数以上を占めています。
- ・ 利用回数については、プールによる大きな差はみられません。

○ プールを利用しなかった理由

ア 施設の存在やサービス内容を知らない
イ 建物、サービス、利用時間、使用料などに不満がある
ウ 他の市区、国や都の施設を利用している
エ 類似の民間施設を利用している
オ 利用する必要がある

施設名	非利用者数	利用しなかった理由					
		ア	イ	ウ	エ	オ	無回答
市民総合プール (郷土の森総合プール)	807	67 (8.3%)	30 (3.7%)	18 (2.2%)	52 (6.4%)	564 (69.9%)	76 (9.4%)
市民プール	888	100 (11.3%)	21 (2.4%)	18 (2.0%)	54 (6.1%)	603 (67.9%)	92 (10.4%)
小柳プール	901	120 (13.3%)	14 (1.6%)	15 (1.7%)	49 (5.4%)	611 (67.8%)	92 (10.2%)
白糸台プール	895	124 (13.9%)	14 (1.6%)	14 (1.6%)	50 (5.6%)	600 (67.0%)	93 (10.4%)
西府プール	898	123 (13.7%)	14 (1.6%)	16 (1.8%)	49 (5.5%)	601 (66.9%)	95 (10.6%)
武蔵台プール	879	123 (14.0%)	9 (1.0%)	15 (1.7%)	48 (5.5%)	581 (66.1%)	103 (11.7%)
新町プール	879	117 (13.3%)	7 (0.8%)	15 (1.7%)	46 (5.2%)	590 (67.1%)	104 (11.8%)
美好水遊び広場	854	100 (11.7%)	9 (1.1%)	13 (1.5%)	42 (4.9%)	594 (69.6%)	96 (11.2%)
生涯学習センター 温水プール	805	90 (11.2%)	27 (3.4%)	14 (1.7%)	38 (4.7%)	548 (68.1%)	88 (10.9%)
その他民間のプール (市外含む)	772	68 (8.8%)	8 (1.0%)	10 (1.3%)	26 (3.4%)	570 (73.8%)	90 (11.7%)
合計	8,578	1,032 (12.0%)	153 (1.8%)	148 (1.7%)	454 (5.3%)	5,862 (68.3%)	929 (10.8%)

- ・ 利用しなかった理由は、「利用する必要がない」が半数以上を占めますが、次いで、「施設の存在やサービス内容を知らない」が、全てのプールで一定程度みられます。

問4-2 今後、市が整備するプールの利用者数を増やすためには、安全性に加え、どのような要素が必要であるとあなたは考えますか。（複数回答可）

選択内容	回答数	割合
広くて、泳ぐ練習ができるプール	232	22.9%
泳ぎ方を教えてくれるプール	275	27.1%
自由に遊べるプール	108	10.7%
子どもだけで遊ぶことができるプール	110	10.9%
浮き輪などの道具で遊べるプール	126	12.4%
すべり台などの遊具があるプール	140	13.8%
きれいなプール	468	46.2%
小さな子どもでも足がつく、浅いプール	137	13.5%
市内のどこからでも行きやすいプール	217	21.4%
室内(温水)プール	430	42.4%
民間事業者が運営するプール	56	5.5%
その他	107	10.6%
無回答	106	10.5%

【回答者数】 1,013、【回答総数】2,512

「その他」の意見（主なもの）

- 健康増進の指導やレッスンが受けられるプール
  - 駐車場があるプール
  - 利用時間、または利用期間が長いプール
  - おむつの取れていない子でも使えるプール
  - レベル別にレーンが分かれ、ウォーキングなどが可能なプール
  - 子どもがいない、大人だけで使用が可能なプール
- ・ 「きれいなこと」と「室内（温水）であること」を、必要な要素と回答した人が多くなっています。
  - ・ アンケート対象者が 20 歳以上の市民ということで、子どもが求める要素はあまり高くなっていません。

(6) 学校施設の複合化について

問5-1 学校施設の複合化について検討する場合、あなたはどのような施設と複合化することが効果的だと思いますか。（複数回答可）

選択内容	回答数	割合
学童クラブや保育所などの子育て支援施設	711	70.2%
高齢者デイサービスセンターなど的高齢者福祉施設	527	52.0%
公民館や集会所などの地域住民の利用施設	398	39.3%
災害時に利用できる施設	787	77.7%
その他	102	10.1%
学校施設の複合化は行うべきではない。	50	4.9%
無回答	61	6.0%

【回答者数】 1,013、【回答総数】2,636

「その他」の施設として挙げたもの

施設名	回答数
図書館	19
スポーツ施設(プール、体育館の共有含む)	16
医療施設	12
ホールや会議室などの公共施設	12
カルチャーセンター(大人向け)	11
市の出張所	9
カフェ・レストラン	6
障害者福祉施設	6
学習塾や習い事の施設	5
コンビニ、スーパー	4
オフィス、会議室など企業向け施設	3
高齢者が集う憩いの場	2

「学校の複合化を行うべきではない」の理由(主なもの)

- 子どもたちが勉強に集中できなくなる恐れがある。
- 安全上、学校は極力人の出入りを控えるべきである。
- 多機能にして良いことはない。教育施設は独立してあるべきである。
- 狭い道路での車両の頻繁な出入りによる接触が心配される。

- 最も多い回答は、「災害時に利用できる施設」で、これは学校の体育館が一次避難所として利用できることも含まれています。
- 学校施設と複合化する施設として、「子育て支援施設」という回答も多くなっています。これは、近年の市民ニーズや、利用者が児童生徒と重なる、もしくは近いということが考えられます。
- 今後ますますニーズが高まる高齢者福祉の分野についても、学校施設の活用策の1つとして考えられます。

問5-2 学校施設の複合化に当たって必要と考えることをご記入ください。（自由記述）

- 学校の敷地に部外者が立ち入らない等、安全確保が必要である。
- 子どもの安全が最優先である。最近子供が巻き込まれる事件も多い。
- 高齢者が増えるので、遊びに行けるような催しがあると良い。交流の場、地域づくりの拠点となる必要がある。
- 何かあった時に助け合える機能があると良い。災害時には避難所としての場所の提供が必要である。
- 衛生的である必要がある。
- 企業の色々なアイデアを活用することも必要である。